

ライチ便り No. 57

～福岡広州ライチ倶楽部会報 2023年11月号～

<http://lychee-club.jp/>

例年になく暑さの秋も過ぎ、気温の変化に翻弄されているうちに、もう今年も残りわずかになりました。10月には広州の「福岡好き」の友人の来訪もありましたし、飲茶会も行いました。またグループチャット上でのお喋りも活発に交わされています。こうしてみると、コロナ禍後の交流は、少しずつ蘇ってきているようですね。来年はさらに力強い活動が展開されますように！

広州在住の会員、魯仲さんが来福しました



わが倶楽部の「広州まちかどセミナー」やその他色々なイベントと一緒に活動していただいている広州市在住の魯仲さん。今では正式にライチ倶楽部に加入してくださっています。

そんな魯仲さんが、東京でのビジネスの帰路、福岡に立ち寄られました。10月7日の夜、友人知人で魯仲さんを囲み、歓迎会をしました。魯仲さんは、広州側で広州の方々との接点として交流を支えています。また、様々な日中間ビジネスに携わっており、今回は、介護ビジネスの現状について紹介してくれました。



到着の翌日には、福岡市博物館や鴻臚館跡、太宰府政庁跡などを訪問し、福岡を満喫して帰られました。魯仲さんは、かつて日本に留学していた経験を持ち、来福されるのも何回目かになりますが、意外にも福岡で観光をしたのは初めてということで、大変喜んで帰られました。

飲茶会、今年もにぎわいました

講師の王和雄先生の店休日に合わせて、今年も10月24日火曜日に飲茶会を行いました。王先生のご指南のあと、24人が4班に分かれて3品ずつ28人分の料理を作りましたが、いずれも親しみやすい料理で、「わが家でも作ってみたい」「お正月にこれを作ろう」等の声が聴かれました。



今回は、卓話を西日本新聞の前北京支局長坂本信博さんにお話し、ご夫婦でご参加いただきました。坂本さんの中国での取材体験談はとても興味深く、滞在中の取材の苦労話や記事の裏側の話など、時間が許せばもっと聞きたい話がたくさんありました。



「福岡広州の(飲み)会」スタート

魯仲さん歓迎の場で、「月に1度くらいは一緒に集まって中華料理でも食べたいね〜」という話になり、有志で定期交流会が始められました。1回目は11月9日の夜。グループチャットで「広州や中国の話をしたい人は誰でも OK」との呼びかけに応じて、華南師範大学から福岡の九州外国語学院に来ているという曾煜函さん、葉詩綺さんが申し込んでこられ、思わぬ拡がりに驚きました。

当日は福岡側の参加者 8 人が、広州側の、上海蟹を食べる会をしている魯仲さんたちとオンラインで繋がって盛り上がったそうです。



交流会の案内等は、WeChat の「ライチ・チャット」というグループチャットで案内しております。まだ未加入で興味のある方がいらっしゃいましたら、携帯アプリの WeChat をダウンロードしてチェックしてみてください。

12 月には「福岡広州の会」忘年会が計画されています。12 月 21 日夜、市内どこかの中華料理店で。広州や中国の話をしたい人は誰でも OK のことなので、ご希望の方は 19 日くらいまでに奥田さんにご連絡ください（メールでも可）。

*** 当倶楽部のHPと各種 SNS を開設しています。是非アクセスしてみてください。**

*** 会費未納の方は、今年度会費の振込をお願いします。個人：3000 円 団体：一口 10000 円**

*** 会報を送付するのは電子メールが便利です。メールアドレスをお持ちの方は是非お知らせください。**